

生涯スポーツを取り入れたまちづくりの一提案*

A Proposal for Towns Introduced by Lifelong Sports*

鬼塚信弘**・伊藤 忍***・金井太一****

By Nobuhiro ONIZUKA**・Shinobu ITOH***・Taichi KNAI****

1. はじめに

現在日本は、戦後の出生力転換が急激であったことや長寿化の急速な進展、近年の超少子化が重なって世界で最も高齢化が進んでいる国となり、医療費の増加や年金の増加などの財政問題を抱えながら大変厳しい時代を迎えている。少子高齢化の問題は直ぐに解決できるものではなく、国民が国や地方自治体と連携しながら多大な努力と時間をかけて解決できるものである。しかしながら、この問題が長引くことによって日本経済が疲弊し、立ち直りのきっかけをつかむことができなくなることもあり、何らかの方策を示さなければいけない。

一方、日本の雇用形態に目を向けると、終身雇用の制度は徐々に崩れてきているものの、能力を持つ者が定年という制度のために職を離れることもある。現状の雇用形態を維持すると、少子高齢化社会における労働人口は確実に減少していくことが予想され、労働者をどのように確保するかが課題となってくる。労働者を確保する一つの方法として、既に一部の企業が実施している定年を迎えた人材の有効活用である。特に技能に秀でた人材はこの定年という制度にあてはめるのではなく、むしろ能力とともに

に健康であれば、まだ十分に社会に貢献できるといえる。このシステムを軌道に乗せるためには、客観的に判断できる健康診断書はもとより、地域が一体化して取り組む健康維持増進のまちづくりを推進していくことが重要である。

既に、筆者らは千葉県の一部の生涯スポーツ施設について実態調査を行い、報告している¹⁾。生涯スポーツとは年齢や体力、目的にかかわらず、いつでも、どこでも、誰もが楽しめるスポーツ²⁾のことである。この生涯スポーツを実践するためには誰もが気軽に利用できるスポーツ施設の整備・充実が必要であるが、スポーツ施設のある場所や設置形態、利用頻度などが意外と知られていない。本研究は千葉県各市町村の行政資料をもとに生涯スポーツ施設の実態調査を行う場所を選定し、人口動向と関連付けながら、生涯スポーツ施設の現状と課題をまとめて、生涯スポーツを取り入れたまちづくりの一提案を述べる。

2. 人口動向

(1) 人口予測

全国および千葉県の若年人口(15歳未満)割合と老年人口(65歳以上)割合の推移を図-1に示す。これは厚生労働省の人口に関する調査³⁾より明らかになったものである。1950年には全国、千葉県ともに年々若年人口の割合が35%であったのが年々減少し、2000年には14%と半分程度まで落ち込んでいる。逆に老年人口は増加し、50年間で12%ほど増加している。1995年には千葉県で老年人口の割合が若年人口の割合を上回った。今後もこの傾向は続いていくと考えられ、2050年には老年人口の割合が35%以上、若年人口の割合は10%程度と予測される。高齢化を急速に進行させる要因の一つと

*キーワード：地域計画、人口分布、観光・余暇

**正員、博士(工学)、木更津工業高等専門学校環境都市工学科(千葉県木更津市清見台東2-11-1、TEL0438-30-4161、FAX0438-98-5717)

***学生員、準学士、弘前大学農学生命科学部生物生産科学科(青森県弘前市文京町3、TEL0172-39-3752、FAX0172-39-3751)

****正員、木更津工業高等専門学校技術教育支援センター(千葉県木更津市清見台東2-11-1、TEL0438-30-4164、FAX0438-30-4164)

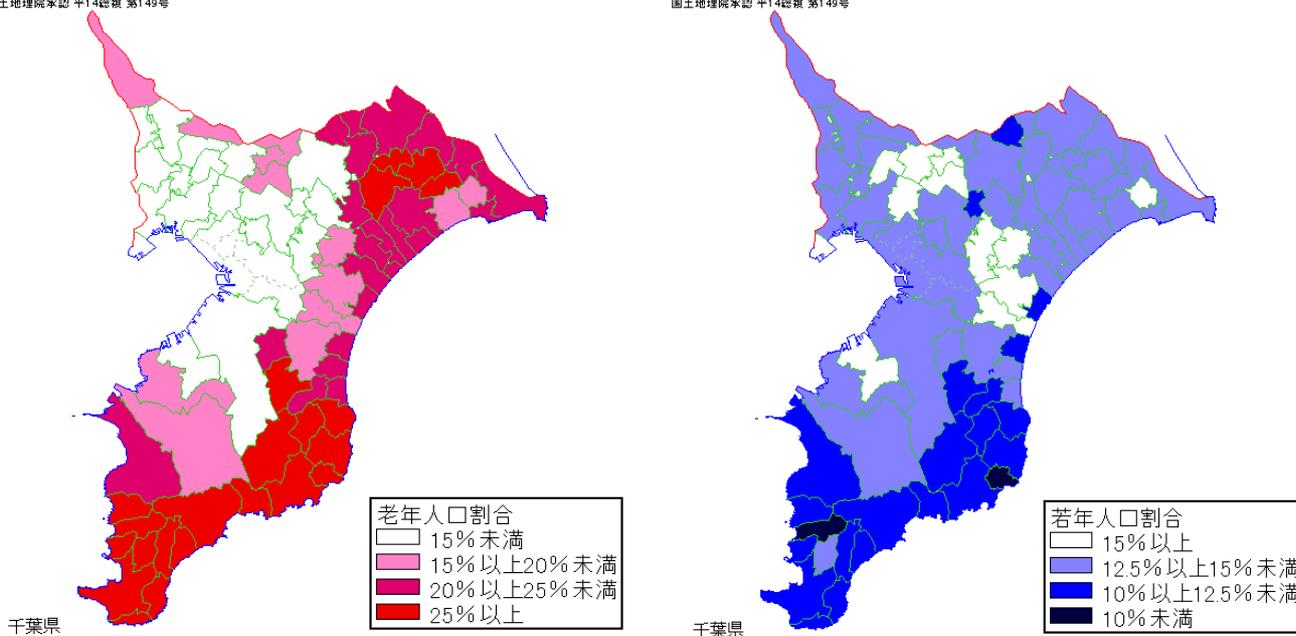


図 - 2 千葉県の少子高齢化人口分布 (2002 年度)

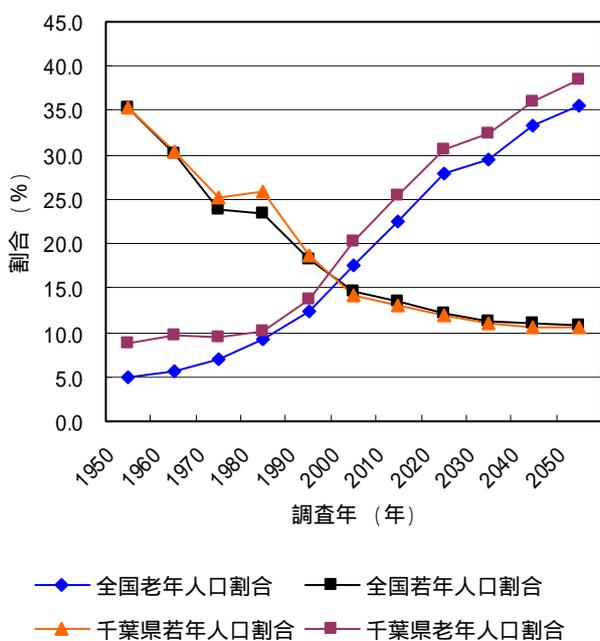


図 - 1 若年人口割合と老年人口割合の推移

して、第一次ベビーブーム世代 (1970~73 年生まれ) が 2035 年以降、老年 (65 歳以上) に達することがあげられる。また、寝たきりや痴呆、虚弱となり、援護 (介護や支援) を必要とする高齢者は、2000 年には約 280 万人で全体の 2.2% 程度だったが 2025 年には約 520 万人で全体の 4.8% まで増加することが予測されている³⁾。

(2) 千葉県の少子高齢化

千葉県の少子高齢化人口分布を図-2 に示す。こ

れは千葉県人口動態の統計データをもとに作成したものである⁴⁾。千葉県は昭和 40 年代の高度経済成長期に首都圏への人口集中に伴い、主として県外からの若年層の流入によって人口が爆発的に増加した。しかしながら、このことは今後の千葉県の高齢化を一層加速させる要因ともなっていて、1970 年には老年人口の割合が 9.4% だったのに対し、2000 年には 20.3% と倍以上増加している。千葉県の高齢化の特徴としては、第一に今後の高齢化の進行速度が早いことがあげられる。高度経済成長期に流入した人口の加齢が相乗的に作用して全国平均を上回るペースで高齢化が進展するものと見込まれる。第二に高齢化の進展の程度が、地域間で大きく異なることも特徴である。東葛地区および京葉地区において比較的高齢化率が低いのに対して、それ以外の地区では高くなっており、特に都市部と農村部との間で大きな格差がみられる。これは東葛地区および京葉地区は都心への通勤圏内であり、千葉県でも特に人口が集中しているためである⁴⁾。

3. 生涯スポーツ施設の現状と課題

生涯スポーツは様々な年代の人がそれぞれのライフステージに合わせて運動をおこなうことであり、勝敗を競う競技スポーツとは異なり、種目は多岐にわたる。このため生涯スポーツ施設は多種目のスポ

表 - 1 実態調査を行ったスポーツ施設の一覧

施設名	所在地	人口割合 (%)	ゲートボール場	ランニングロード	マレットゴルフ場	テニスコート	野球場	サッカー場	陸上競技場	その他
のさかアリーナ	野栄町今泉	18.3								トレーニンググループ
光スポーツ公園	光町篠本	7.3								アスレチック広場
本埜スポーツプラザ	本埜村中根	6.0								
松山下公園	印西市浦部	1.6								
水と緑の運動公園	栄町須賀	1.3								相撲場 弓道場
旭スポーツの森公園	旭市二	19.5								健康遊歩道 総合体育館
大網白里町運動広場	大網白里町南飯塚	1.9								多目的グラウンド
和名ヶ谷スポーツセンター	松戸市和名ヶ谷	0.7								プール 体育館

ーツを行えることが条件となる。本研究では特に老年期に適したスポーツ（ゲートボールやウォーキングなど）を楽しむことのできる 17 施設を特定し、このうち 8 施設の調査を行った（表-1、写真-1～3）。

（1）スポーツ施設の立地

スポーツ施設はあまり人口の集中していない場所に設置されていることがわかる。この原因としては用地の確保が難しいことがあげられる。各市町村の全体人口に対する施設周辺在住者の人口割合が最も低い和名ヶ谷スポーツセンターはクリーンセンターに隣接しており、市民の要望によって市有地に建設された。最寄り駅からこのスポーツ施設までのバスによる公共交通機関は整備されているが、本来、生涯スポーツ施設は誰もが気軽に利用できることが条件であり、ある程度人口が集中している地区に設置されることが望ましい。

（2）スポーツ施設の設置形態

表-1 に示したように、ほとんどの施設に野球場、テニスコートが設置されており、住民の間で一般的なスポーツとなっていることがわかる。また、近年では老年人口の増加に伴い、ゲートボール場やマレットゴルフ場といった高齢者も行うことができるス

ポーツ施設も増えている。しかしながら、千葉県的主要なスポーツ施設 87 施設のうち老年期に適していると考えられるスポーツを楽しむことのできる施設は 17 施設であり⁵⁾全体の 5 分の 1 程度である。いまだに多くのスポーツ施設では競技スポーツの設備のみを有している場合が多く、高齢者にも適したスポーツを楽しむことのできる施設はまだ少ない。

4. おわりに

急激に進行する少子高齢化社会に対して、生涯スポーツ施設の整備は遅れている。また、施設そのものが整備されていたとしても、市街地や住宅が集中している場所から遠く、気軽に利用できないなどの問題がある。この対策の一つとして、現在、児童公園として使われている街区公園を中高年者にも適した運動を楽しめる公園に改良する方法があげられる。これは既存の公園を利用するため、新たな用地確保の必要がなく低コストで改良ができ、住宅地からも近く気軽に利用できるので利点大きい。このような生涯スポーツ施設の整備・充実を行うことによって、国民一人一人の健康に対する意識が高まり、健康維持増進が図れるものと考えている。



写真 - 1 本埜スポーツプラザ
ゲートボール場



写真 - 2 水と緑の運動公園
ジョギングコース



写真 - 3 旭スポーツの森公園
健康遊歩道



写真 - 4 和名ヶ谷スポーツセンター
屋内ゲートボール場

参考文献

- 1) 伊藤忍・鬼塚信弘・金井太一：生涯スポーツ施設の現状と課題，第 31 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集，2004 .
- 2) 生涯スポーツ倶楽部
<http://www.asics.co.jp/recreation/>
- 3) 厚生労働省
<http://www.mhlw.go.jp/>
- 4) 千葉県
<http://www.pref.chiba.jp/>
- 5) 社団法人 千葉県観光協会
<http://www.omoshiro-chiba.or.jp/>
- 6) 総務省統計局
<http://www.stat.go.jp>